

ライフイノベーションの 原動力

～進化する幹細胞技術と再生誘導法～

京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所では、市内医療産業の振興を推進するため、「京都市ライフイノベーション創出支援センター」を拠点として、ライフサイエンス分野の研究開発支援、産学公連携事業、販路開拓支援などを行っています。

支援の中心に位置付けている「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」については、本年で6年目を迎え、医療機器、福祉・介護機器、サービス等の事業化・製品化やベンチャー創業など、様々な成果に結びついています。

そこで、今回のシンポジウムでは、同センターのコーディネート支援等から生まれた大学発ベンチャーや産学連携による製品開発の事例発表等、幹細胞技術や再生医療分野における最先端の研究事例をご紹介します。

2016年/ **11/2** 水 14:00～17:30
受付・開場13:30～

京都大学国際科学イノベーション棟
5階シンポジウムホール

(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内)

定員200名
(先着順)
参加無料

座長 (公財) 京都高度技術研究所
京都市ライフイノベーション創出支援センター長 谷田 清一 氏

プログラム	14:00 開会
	14:10 講演① 「iPS細胞由来心筋細胞の応用研究」 京都大学物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS) 特定拠点助教 南 一成 氏
	14:55 講演② 「再生・細胞医療領域でのカネカの研究開発」 株式会社カネカ 再生・細胞医療プロジェクト 基幹研究員 小林 明 氏
	15:40 <休憩15分>
	15:55 講演③ 「骨髄内間葉系幹細胞を標的とした再生誘導医薬開発」 大阪大学大学院医学系研究科 最先端医療イノベーションセンター 再生誘導医学寄附講座 教授 玉井 克人 氏
	16:40 講演④ 「FGF-2の歯周組織再生薬としての応用研究及び臨床開発」 科研製薬株式会社 臨床開発部 部長 綿貫 充 氏 科研製薬株式会社 薬理部 研究員 安齋 純 氏
	17:25 閉会

申込みは WEB または FAX で 申込締切 10月31日 [月]
詳細は裏面をご覧ください。

URL <http://www.astem.or.jp/lifeinov/2016symposium/1982.html>

FAX 075-950-0881 裏面申込書にご記入のうえ、送信してください。

問合せ 公益財団法人京都高度技術研究所 産学公連携事業本部
京都市ライフイノベーション創出支援センター
TEL: 075-950-0880 FAX: 075-950-0881
E-mail: ikouyaku@astem.or.jp URL: <http://www.astem.or.jp/lifeinov/>



ライフイノベーションの原動力

～進化する幹細胞技術と再生誘導法～

講演① iPS細胞由来心筋細胞の応用研究

京都大学物質-細胞統合システム拠点
特定拠点助教 南 一成 氏

ヒト心筋細胞は創薬や再生医療で需要が高いが、心臓から直接心筋細胞を取り出して増やすことは難しい。そこで大量生産可能な細胞ソースとして、iPS細胞由来の心筋細胞が近年非常に期待されている。演者らは新規化合物を用い、低コストかつ安定性と生産性に優れたiPS-心筋誘導法を確立した。本講演ではこのiPS-心筋細胞について、移植治療や薬剤評価への応用研究の現状を述べる。

講演② 再生・細胞医療領域でのカネカの研究開発

株式会社カネカ 再生・細胞医療プロジェクト
基幹研究員 小林 明 氏

再生・細胞医療に使用される有用細胞を高品質で安定的に調製することは重要である。株式会社カネカでは、これら課題を解決するためのデバイス・装置開発を行っている。また、最近では羊膜由来間葉系幹細胞を用いた免疫関連疾患に対する製品開発や、創薬スクリーニングに使用するiPS細胞由来の分化細胞を自動で調製する装置開発も手掛けており、本講演では、これら製品開発に関する同社の取組状況を紹介する。

講演③ 骨髄内間葉系幹細胞を標的とした再生誘導医薬開発

大阪大学大学院医学系研究科 最先端医療イノベーションセンター
再生誘導医学寄附講座教授 玉井 克人 氏

生体組織由来幹細胞を培養・増殖し、加工した後に損傷組織に移植する再生医療の開発が精力的に進められている。一方演者らは、生体内損傷組織の再生過程における骨髄由来間葉系幹細胞動員機序を解明し、その分子基盤を利用した再生誘導医薬開発を進めている。本講演では、骨髄内間葉系幹細胞と損傷組織のクロストークメカニズムに基づいた創薬の現状を概説する。

講演④ FGF-2の歯周組織再生薬としての応用研究及び臨床開発

科研製薬株式会社 臨床開発部 部長 綿貫 充 氏
科研製薬株式会社 薬理部 研究員 安齋 純 氏

歯周病は、病態の悪化により歯周組織を破壊し歯を喪失させる。破壊された歯周組織の再構築は究極の歯周病治療だが、これには硬組織と軟組織の再生が要求される。

FGF-2は、皮膚の創傷治癒を促進する成長因子であるとともに、硬組織の形成にも作用するため、歯周組織再生剤としての適応が期待された。本講演では、FGF-2の歯周組織再生剤への研究及び臨床開発に関して述べる。

申込方法

申込締切 平成28年10月31日(月)

WEB申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供に同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申し込みください。

申込先 ▶ (公財)京都高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター

URL: <http://www.astem.or.jp/lifeinov/2016symposium/1982.html>

FAX: 075-950-0881

※定員になり次第締切らせていただきます。

※申込みいただいた方にご連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。また、参加証の発行はいたしません。定員の都合上ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

当センターでは、公的支援プログラム・各種セミナーをはじめ 医・工・薬・ヘルスケアに関する様々な情報をメールマガジンで配信しています。ご登録はこちらから。

<http://www.astem.or.jp/lifeinov/bmp-net>

フリガナ		TEL/FAX	
お名前		E-mail アドレス	
ご所属 (企業、大学、機関等)			
部署・役職			

事務局における個人情報の取扱いについて

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

下記「個人情報の取扱いについて」を確認し、同意のうえ申込みます。

同意する (チェック をお願い致します。)

1. 個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました個人情報は、当財団で管理させていただきます。本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催、共催または後援する催事のご案内に利用させていただきます。

2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属等を京都市に提供することがありますが、それ以外では、法令に基づく場合を除き第三者に貴殿の個人情報を提供することはありません。

3. 個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

4. 通知、開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

ご提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続きにより、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

5. 個人情報を記入するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 公益財団法人京都高度技術研究所
<個人情報保護管理者> 総務部長
<窓口> 総務部
所在:京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614
URL:<http://www.astem.or.jp>
※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く) 9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。